

「造船技術者 社会人教育を受講して」 ～ 受講者の感想と要望 ～

「造船技術者 社会人教育」を受講された方々に対し実施したアンケート結果より、実際に社会人教育を受講された感想と要望をまとめました。

－受講した感想－

- ・ 他社の技術者、大学の先生方と交流・意見交換できる良い機会となった。
- ・ 各分野のエキスパートである先生方の「考え方」に触れることができたことは非常に有意義であり、今後に生かしたいと思う。
- ・ 学生時代より緊張感があり吸収し易かった。今回、学んだ事を日常業務に結び付けられるよう日々意識して努力するようになった。
- ・ 会社あるいは独学で理論を学ぶことは不可能に近いので、社会人教育でちゃんと時間をとって勉強する機会をもてるのは良いことだと思います。
- ・ 計9コマ×90分だったが、6万円以上の価値があったと思う。
- ・ 同業他社の人達とグループに分かれての討議やプレゼンテーション等大変貴重な経験が出来た。
- ・ 大学の講義の復習も兼ね、自分の業務に対する基本的な内容を再確認できた。
- ・ 他の造船所の方々と交流でき、母校の先輩・後輩、また同級生とも久々に会うこともでき、充実した内容でした。
- ・ 業界のベテランの実体験に基づく実務的な話を聞くことが出来たことが、大きな利点。
- ・ このような場は、知識の習得、同業他社の技術者との交流という意味で大変有意義であると思います。今後も是非続けて頂きますようお願いいたします。
- ・ 図面1つ見るにしても理論的なことを考慮しながら見るような意識を持てるようになり、十分受講した甲斐があったと思います。
- ・ 提出したレポートにコメントを頂けたことがよかった。
- ・ 基礎的なものからやや実務的なことまで幅広くご教示頂き、とても勉強になった。
- ・ 造船の生産現場に働く者として最低限の知識は必要と言う事を改めて痛感した。

－講義内容・演習問題に関する要望－

もう少し講義回数が多い方が良いと感じました。



6カ月の教育期間で計3回／3日のスクーリング(90分9コマ)を実施しておりますが、現在の受講料設定・講師人数では講義回数の増加は難しい状況にあります。理解不足に終わった点については、Eメールでの質問等で補完していただくこととなります。

スクーリングは土曜日だが、平日開催にできないか。



大学の施設をお借りして講座を実施しておりますため、現状では平日開催が難しい状況です。ただし、平日開催のご要望が今後も多く寄せられる場合は実施を検討して参ります。

もっと、受講コースを増やして欲しい。



受講者及び各社連絡責任者の方々から広くニーズを聴取し、一定以上のニーズが寄せられた場合には新たなコースを開設していきたいと考えております。第13回より「機関艦装設計コース」を開設いたしました。

受講者レベルに応じて、コース内でクラス分けして欲しい。(初級・中級・上級等)



クラス分けを実施し、且つクラスに応じて講義内容を調整するには時間・費用など様々な制約が生じることから、引き続き適切な講義体制を検討していきたいと考えております。

講義については、少し内容を絞った上で実例や実務で生じた問題点を取り上げるなど、もう少し実務に対応した内容を取り入れてほしい。グループ内でのディスカッションなど参加型にすればより実践的なものとなり、理解も深まるのではないのでしょうか。また、演習問題については、解答がどう評価されたのかなど十分なフォローを行って欲しい。



講義の内容・進め方及び演習問題等については、担当講師と相談しながら、今後とも改善に努めて参ります。

学問的な観点からの講義も重要ですが、例えばベテラン設計者による設計テクニックの講義など、メーカー技術者、サービスエンジニア、運航関係者による講義も取り入れて欲しい。



実務経験者の講師については、今後、各コース担当講師と相談しながら、検討していきたいと考えております。

会場が造船所の場合、造船所見学もできたら、もっと有意義になると思いました。



造船所での開催は、造船所のご厚意によりますので、必ず見学が実施できるとは限りませんが、可能な限り見学を受け入れていただくべくお願いしております。

ー運営全般に関する要望ー

前日入りを余儀なくされる遠い場所での開催は、業務との調整が困難です。スクーリングの開催場所については考慮して頂きたい。



開講式・第1回スクーリング、閉講式・第3回スクーリングについては、全コースで集まる必要があることから、地理的に中心である関西地区にて開催することにしております。また、コース毎に開催される中間スクーリングについては、各コースを受講される方々の所在分布状況とその地域に所在する造船所の都合等を勘案し、開催場所を決定しています。

スクーリングの開催地については決まり次第速やかに受講者に通知いたします。

教室が狭く窮屈であり、また座席が固く座り心地があまり良くないので、快適に講義を受講できる環境を整えて欲しい。



収容規模に一定の余裕を持たせた会場確保に努めます。座席につきましてはミニクッション等を持参してご対応頂ければと存じます。

懇親会は受講コース毎にテーブルを作って頂いた方が、同じコースの受講者と親睦を深められるので、検討して頂きたい。(現状だと誰が同じコースを受講しているのかわからない)



懇親会の際はコースごとにテーブルを指定し、同じコースの受講者・講師と親睦を深めやすいよう改善しました。

なお、立食形式の懇親会におきましては、同じコースの受講者に拘らず、広く講師・受講者との交流を持って頂くことを期待しております。

受講コースを決める際の参考にしたいので、コース毎の中間スクーリング開催実績を事前に教えて頂きたい。



各コースのシラバスに過去3年の開催実績を記載いたしました。

「造船技術者 社会人教育センター」に関するご意見・ご質問は shakajin@sajn.or.jp までお願いいたします。